

日時：2014年6月6日（金）15:30～17:30

講師：経済産業研究所 森川正之副所長

演題：サービス産業の生産性分析 —マイクロデータによる実証—

サービス産業は日本を含む主要国の経済の中で圧倒的なシェアを占めており、その生産性向上は経済全体の成長力のカギとされている。しかし、サービス産業を対象とした生産性の実証分析は日本だけでなく海外の主要国でも大幅に遅れており、その実態は十分解明されていないのが現状である。本研究は、「企業活動基本調査」、「特定サービス産業実態調査」をはじめとする政府統計のマイクロデータに基づく日本のサービス産業に関する実証分析である。以下、研究成果を4つの内容に分けて報告する。

#### 1. サービス経済化と生産性の関係

所得水準の上昇に伴ってサービス産業のウエイトが上昇していく主要国では、サービス産業の生産性上昇率が製造業に比べて低いのが実態であり、経済成長率の鈍化を避けるにはサービス産業の生産性向上が必要であると考えられている。サービス産業の中では生産性の企業間格差が大きいいため、産業の生産性を向上させるには、「再配分効果」（生産性の高い企業の市場シェア拡大）、「純参入効果」（生産性の高い企業の参入）といった格差縮小の役割を果たす「新陳代謝」メカニズムが重要である。本研究で明らかになったのは、米國小売業の生産性上昇の多くは「新陳代謝」で説明されることと対照的に、日本のサービス業では新規参入や資源再配分効果の生産性上昇への貢献が小さい又はマイナスということである。これは、「新陳代謝」が日本では十分に働いていないことを示唆している。

#### 2. サービス生産と消費の同時性

サービスの生産と消費の多くは空間的同時性（同じ場所で起こる）や時間的同時性（同じ時間で起こる）という特徴があるため、需要密度や需要変動がサービス企業の生産性を左右すると予想される。本研究では、立地場所の需要密度がサービス業の生産性に大きく影響することが確認され、国土計画や都市計画に関連する政策の重要性を示唆している。また、時間的な需要の平準化も大きな影響を持つことが分かった。つまり、休暇制度や労働市場制度（労働時間制度、非正規労働規制等）もサービス業の生産性向上には重要であることを示唆している。サービス産業の生産性を向上させるには、経済全体の仕組みを変える必要がある。

### 3. 企業特性と生産性の関連

企業の生産性は企業特性である IT 利用度や外資比率に関連があるとされているが、本研究で分かったのは、企業固定効果をコントロールすると生産性への効果は弱まる又は消えるということである。IT 投資を活かす「経営力」（従業員の訓練、意思決定システム、労使関係等）が生産性を強く規定し、単に IT 投資をすれば生産性が高まるわけではないということが考えられる。外資比率も同様で、企業固定効果を考慮した推計では生産性との相関関係が確認できない。IT 利用度と外資比率の他に、所有構造、労働組合の有無、ストックオプションも重要な要素である。企業の所有構造については、同族企業は生産性上昇率が低い、存続確率が高いということが分かった。また、日本では米国と異なり、労働組合がある企業の生産性の水準及び上昇率は高いということが確認された。更に、ストックオプションの利用は生産性にプラスの影響を与えていることが分かった。但し、これらの要素は企業の「経営力」の代理変数となっている可能性があるため、「経営力」こそが企業生産性の決定的な要因ではないかとも考えられる。

### 4. サービス生産性分析の課題

サービス産業の生産性の計測は、統計上の制約（カバレッジ、精度、項目等）によって大きく制限され、様々な誤差を含んでいる可能性がある。サービス産業の生産性を正しく把握するには、カバレッジの拡大、価格データの精度の向上、労働者の構成及び労働時間、事業所ベースでの資本ストックのデータの収集等、統計の充実が重要である。ただし、技術的な限界が存在するため、生産性データを読む側がデータの前提と限界を意識することも重要である。

本研究をまとめると、日本のサービス産業の生産性について以下のようなことが明らかになった。まず、サービス業では企業間の生産性格差が大きく、しかも産業全体の生産性を高める「新陳代謝」の働きが十分ではないのが現状である。次に、経済集積、需要変動がサービス事業所の生産性に強く影響している。更に、IT 投資ではなく、その背後にある「経営力」が生産性向上の決定的な要因である。これらの結果は、基幹的な経済制度と政策（都市計画、土地利用規制、労働市場制度、企業法制等）がサービス産業の生産性を向上させるのに重要であることを示唆している。但し、統計上の制約のため、分析結果には多くの留保が必要である。一方、この分野の研究は更なる発展が期待できる。

以上